HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	竹ヶ原幸朗文献目録
Author(s)	小川, 正人
Description	小川正人編
Citation	教育史・比較教育論考, 19, 33-43
Issue Date	2009-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/39488
Type	departmental bulletin paper
File Information	019-004.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

竹ヶ原幸朗 文献目録

小 川 正 人 編

〔凡例〕

1　この目録には、竹ヶ原幸朗さんの著作、学会発表・講演などについて、2009年2月までに編者が確認できた限りのものを掲載した。
原則として編者が実見できたもののみを掲載しているが、一部、竹ヶ原さんの遺品のフロッピーディスクの中に残されていた、竹ヶ原さん自身による業績目録のデータによったものもある。
データの参照をおゆるし下さったご遺族に深く感謝申し上げる。

2　目録は、大きく「1　著作」（論文、資料紹介など）と「2　学会発表・講演など」の二つに分け、さらに著作については、北海道教育会機関誌の覆刻事業に関するもの及び『朝日新聞』に連載した「いまどきの子どもたちへ」を区分し、それぞれ「3　北海道教育会機関誌覆刻事業」「4　いまどきの子どもたちへ」とした。

3　「1　著作」では、「年月日」「表題」「所収（巻号）」「発行」「ページ」及び「摘要・備考」の欄を設けた。「摘要・備考」には、その文献等について補足すべきと思われる情報のほか、「種別」の「1」（著作）については主要な目次を記載した。

4　「2　学会発表・講演など」では、「1　著作」の「所収」欄を学会等の行事名に、「発行」欄をその行事の主催者名に置き換えている。

5　引用文中の〔　〕で括った箇所は、編者による注記である。

6　本目録の作成に当たって、次の機関・個人から教示を受けた。記して感謝申し上げる。（敬称略）

朝日新聞北海道支社、大阪人権博物館、北海道教育大学札幌校
解放出版社、明石書店、桑原真人

7　本目録にはなお遺漏が多く残されている。また、竹ヶ原さんから見せてもらった記憶が確かにあるにもかかわらず、今回現物を確認できなかったものや、無署名の文章で、おそらく竹ヶ原さんの著作だと思われるものの、確認がとれなかったため目録に掲載しなかったものも若干ある。
こうした多くの不備を竹ヶ原さんとご遺族に申し訳なく思うとともに、今後、本目録を見た方々から教示をいただくことができれば有難いと思う次第である。

1　著作

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1975			アイヌに対する日本語の強制とアイヌ語の復権	AALAにおける民衆教育の思想と現代	アジア・アフリカ・ラテンアメリカ教育研究会		※編者未見（表題等は「アイヌ「教育」政策史研究ノート（一）」の末尾の注記による。）
1976	2		アイヌ「教育」政策史研究ノート（一）	アジア・アフリカ・ラテンアメリカ教育研究　3	アジア・アフリカ・ラテンアメリカ教育研究会	28〜38	Ⅰ　アイヌ語の現状/Ⅱ　江戸幕府のアイヌ「教化」政策/Ⅲ　明治以後のアイヌ「教育」政策/Ⅳ　アイヌ解放運動のはじまり
1976	12		アイヌ教育史	教育学研究　第43巻第4号	日本教育学会	36〜47	掲載誌の特集「地域教育史研究」中の一編。 はじめに　/第1章　アイヌ教育の成立（1　江戸幕府のアイヌ教化政策/2　「筆学所」計画/3　明治初年のアイヌ政策/4　アイヌ学校の発足/5　三県時代のアイヌ教育政策/6　アイヌ教育への関心の成立/7　ジョン・バチェラーの活動）/第2章　アイヌ教育の展開（1　「旧土人」小学校の設立/2　北海道旧土人救育会虻田学園/3　アイヌ教育の内容/4　「旧土人」小学校における和人教師の実践/5　「旧土人」小学校の廃止）/第3章　アイヌ解放運動と「アイヌ人に送る書」（1　アイヌ解放運動の契機/2　柳宗悦のアイヌ教育政策批判） ※注104において「アイヌ解放運動」の時期区分の概要を述べる。
1977	5		国語辞典（小学生用）のアイヌ像	道歴研会報　第8号	北海道歴史研究者協議会	3〜5	1977年1月に北海道大学で行われた北海道歴史研究者協議会における報告「アイヌ教育史　－青少年のアイヌ観」の「補助報告」として寄稿されたもの。
1978	1	31	［研究ノート］吉田巌の台湾学事調査	朝日新聞　夕刊	朝日新聞社		
1978	11	28	「吉田巌の台湾学事調査」補論	道歴研会報　第14号	北海道歴史研究者協議会	8〜10	
1979	10		［問題提起　13］アイヌ教育（史）研究の視点	地方史研究　第29巻第5号	地方史研究協議会	19〜22	地方史研究協議会1979年度大会に対する「問題提起」のうちの一つ。近代アイヌ教育史研究の研究史の概要をまとめた上で、吉田巌の台湾学事調査とその関係資料に基づく問題提起を行う。
1980	3		青少年のアイヌ観 ※小沢有作と共著	人文学報　第144号	東京都立大学人文学会	1〜80	竹ヶ原幸朗、小沢有作のほか、柿沼秀雄、峰島厚、川上俊彦により都内青少年810名に対して実施したアンケート調査の分析。 (1)調査の目的/(2)アイヌ・イメージの形成/(3)アイヌ問題学習の実相　学校教育のなかのアイヌ像/(4)アイヌ問題認識の構造・その一　アイヌ人の民族的個性をどのようにとらえているか/(5)アイヌ問題認識の構造・その二　現状をどのように見ているか/(6)アイヌ問題の基礎的知識について/(7)アイヌ問題にたいする意見の諸相
1980	3		アイヌ教育関係文献目録 ※小沢有作と共編	人文学報　第144号	東京都立大学人文学会	81〜111	「まえがき」に「竹ヶ原幸朗「アイヌ教育文献目録」（プリント版、1975年）を基礎として作成した」とあり。
1980	5	1	アイヌ「保護」と同化政策	北海道の歴史と風土	創土社	104〜109	
1980	7	20	アイヌ同化＝皇民化教育政策	天皇制研究　第2号	JCA出版	76〜95	掲載誌の特集「皇民化政策」の中の一編。 末尾に年表「アイヌ皇民化教育史」を付す。
1981	6	27	岩谷英太郎著作年譜	道歴研会報　第24号	北海道歴史研究者協議会	5〜8	
1982	6	25	解題〔北海道用尋常小学読本〕	地域教育史資料1　北海道尋常小学読本	文化評論社	1〜18	『北海道用尋常小学読本』の覆刻版（佐藤秀夫監修）。 1　近代北海道の教育史的位置と『北海道用尋常小学読本』/2　『北海道用尋常小学読本』の編纂過程/3　『北海道用尋常小学読本』の内容/4　『北海道用尋常小学読本』に対する教育界の反応
1982	11	16	月報　北海道教育会雑誌		文化評論社		北海道教育会機関誌（北海道教育会雑誌、北海道教育雑誌、北海之教育）覆刻版に添付された月報の1〜4号の編集人として竹ヶ原幸朗の名あり（5号は編集委員会名のみ）。 詳細は「３」を参照。

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1982	11	25	北海道教育会機関誌〔覆刻版〕		文化評論社		北海道教育会機関誌（北海道教育会雑誌、北海道教育雑誌、北海之教育：1891～1918年）の覆刻編集委員会委員をつとめる（他に逸見勝亮、桑原真人、谷内鴻：計4名）。おおむね１年分（12冊）ずつ、委員のうち１名が持ち回りで担当し、覆刻版巻頭には凡例と目次を付している。 編集担当分の詳細は「３」を参照。
1983	2		アイヌ教育実践の系譜 －アイヌ差別と教育	解放教育	明治図書	25～33	
1983	2	1	在日外国人問題	子ども白書1983年版	草土文化	82～87	
1983	3	1	『北海道用尋常小学読本』の意味	朝日新聞　夕刊	朝日新聞社	5	
1983	4	1	『北海道用尋常小学読本』の意味	札幌市図書館だより　らいらっく　第144号	札幌市中央図書館	5	『朝日新聞』3月1日付夕刊文化欄所収記事の再掲
1983	5	1	〔編輯後記〕	札幌市図書館だより　らいらっく　第145号	札幌市中央図書館	12	この号の特集は「北海道の児童文学」。特集の編集意図を説明。
1983	7	1	〔編輯後記〕	札幌市図書館だより　らいらっく　第147号	札幌市中央図書館	12	この号の特集は「北海道史」。特集の編集意図を説明。特集記事は桑原真人、田端宏らが執筆。
1983	10	25	近代日本のアイヌ教育 －同化教育の思想と実践	北海道の研究６近現代編Ⅱ	清文堂	453～492	はじめに　アイヌ教育研究の現状/一　アイヌ同化教育への関心の成立（（一）近代天皇制国家のアイヌ政策/（二）開拓使・三県当局のアイヌ教育とキリスト教的アイヌ教育）/二　アイヌ同化教育の思想　　岩谷英太郎のアイヌ教育思想（（一）岩谷英太郎とアイヌ教育/（二）「あいぬ教育ノ方法」について/（三）岩谷英太郎のアイヌ教育観）/三　アイヌ同化教育の確立（一）「北海道旧土人保護法」の制定と「旧土人」小学校の設立/（二）「旧土人」小学校における教授法、教育内容の体系化/（三）　「北海道旧土人救育会虻田学園」）/四　アイヌ同化教育の実践　吉田巌のアイヌ教育実践（（一）吉田巌の閲歴/（二）吉田巌のアイヌ教育実践/（三）吉田巌の台湾学事調査）/五　アイヌ同化教育の「終焉」（（一）「旧土人」小学校の廃止〈別学〉から〈共学〉へ）/おわりに　柳宗悦のアイヌ同化教育批判
1984	6	1	〔一冊の本〕北海道女性史における必読の書	札幌市図書館だより　らいらっく　第161号	札幌市中央図書館	3	
1985	2		岩谷英太郎とアイヌ教育 －明治アイヌ教育小史	月刊言語　第14巻第2号	大修館書店	79～83	特集：アイヌの言葉と文化　言語篇 はじめに/一　岩谷英太郎の閲歴/二　『あいぬ教育ノ方法』について/三　岩谷英太郎のアイヌ教育論/四　アイヌ文化の保存と殖民地政策/おわりに
1985	2	20	アイヌ教育関係文献目録（増補版） ※小沢有作との共編	教育史・比較教育論考　第11号	北海道大学教育学部教育史・比較教育研究グループ	29～60	
1985	3		アイヌ民族問題	現代社会と人権	学術図書	172～192	
1987	5		「対雁学校」「バチェラー」「北海道アイヌ協会」「北海道旧土人保護法」「マンロー」	日本大百科全書	小学館		全26巻。掲載巻は1988年8月にかけて順次刊行。
1987	7	1	〔27冊の文献解題(「北海道をより深く知るための本　539冊」のうち)〕	北海道から　第3号	北海学園		「教育」「アイヌ」の分野中の執筆。
1988	2		アイヌ教育史　－教育史学会コロキウム「アイヌ教育史」の記録	北海道大学教育学部紀要　第51号	北海道大学教育学部	89～134	1987年10月2日のコロキウム「アイヌ教育史」の記録。発言あり。
1988	3	31	教科書の中のアイヌと小学生のアイヌ観	アイヌの歴史・文化等に関する資料3　学校教育とアイヌ理解	札幌市教育委員会	70～85	1987年10月28日「札幌市民族教育に関する研修会」講演の記録。

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1988			教育のなかのアイヌ差別	『新編新しい社会（公民）』教師用指導書	東京書籍		
1989	3	1	宇野浩二の児童文学とアイヌ　－被抑圧民衆・民族への関心	未来　第270号	未来社	14～15	
1990	6		地理教科書のなかのアイヌ像　－日本人のアイヌ認識の形成	解放教育　第261号	明治図書	85～92	連載企画「「クナシリ・メナシの蜂起」200年」第3回 はじめに/1　地理教科書における〈アイヌ〉教材の初出/2　近代史のなかの〈アイヌ〉教材/3　地理教科書のなかのアイヌ像/おわりに
1990	6		遠藤正明のアイヌ教授実践と開発主義教授法　－札幌県のアイヌ教育をめぐって	アイヌ文化　第15号	アイヌ無形文化伝承保存会	1～12	はじめに/1　三県時代のアイヌ教育の動向/2　遠藤正明の閲歴/3　遠藤正明の佐瑠太学校平取分校への派遣/4　開発主義教授法に基づくアイヌ教育実践/5　遠藤正明のアイヌ観/おわりに
1990	7		アイヌの教育	新教育学大事典第1巻	第一法規	15～19	伝統的社会の子育ての習俗/アイヌ同化政策と教育/開拓使・三県一局時代のアイヌ教育（1869～86）/アイヌ教育論議の背景/『あいぬ教育ノ方法』の意味/アイヌ小学校の特設/アイヌ小学校の教育内容/アイヌ教育規定の変質とアイヌ小学校の廃止/アイヌの自己教育運動と柳宗悦のアイヌ教育政策批判/近代日本のアイヌ教育の反教育性/アイヌ教育の現状と課題
1990	11		［短信］こんな本を読みました　小笠原信之著『しょっぱい河』	解放教育　第267号	明治図書		
1990	12	1	遠藤正明とアイヌ教育	教育資料通信No.17	北海道教育大学附属図書館	1～3	本文に約30字の脱落あり。『教育資料通信』No.18(1991年3月25日）の末尾に「訂正とお詫び」としてこのことが記されている。
1991	1	25	アイヌ	国際教育事典	アルク	5～6	
1991	1	25	樺太教育	国際教育事典	アルク	143～144	
1991	2	18	アイヌ教育文献目録（増補改訂版） ※小川正人との共編	教育史・比較教育論考　第14号	北海道大学教育学部教育史・比較教育研究グループ	63～76	
1991	6	23・30	［日本文化を考える　北と南からの視点］22、23　北と南を結ぶ尋常小学読本　（上）（下）	琉球新報	琉球新報社		
1991	7	7	［日本文化を考える　北と南からの視点］24　近代教科書の中の〈アイヌ〉	琉球新報	琉球新報社		
1991	7	14・21	［日本文化を考える　北と南からの視点］25、26　柳宗悦とアイヌ　（上）（下）	琉球新報	琉球新報社		
1991	8	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第21号	札幌市、札幌市教育委員会	76～77	新札幌市史通史3の教育編を担当にするに当たっての問題関心などを記す。
1991	9	11	いまどきの子どもたちへ	『朝日新聞』（北海道PR版）	朝日新聞社（北海道支社）	D面	※このあと1994年9月まで断続的に連載。詳細は「４」を参照。
1992	2	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第22号	札幌市、札幌市教育委員会	72～73	『北海タイムス』1910年10月20日付け「旧土人の見学感」を紹介しつつ、「札幌の歴史を語るとき常にアイヌとの関わりは視野に収めておかねばならない問題である」と記す。
1992	2	25	北と南を結ぶ尋常小学読本（上）	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第22号	札幌市、札幌市教育委員会	19～31	はじめに/一　『北海道用尋常小学読本』の成立過程（(1)編纂の「請願」と『普通読本』問題/(2)編纂事業の経過と北海道教育界の動向）/二　『沖縄県用尋常小学読本』の成立過程
1992	3		アイヌ教育研究の現状と教育研究者の課題〔日本教育学会第50回大会ラウンドテーブル報告〕	教育学研究　第59巻第1号	日本教育学会	99～100	
1992	3		「解平社」の創立とアイヌ解放運動	解放教育　第284号	明治図書	34～43	特集：全国水平社と解放教育 はじめに/一　近文コタンのアイヌの諸相　－解平社創立の背景/二　解平社の創立と近文アイヌ地問題/三　森竹竹市「解平運動」の意味/おわりに

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1992	8	20	教科書の中の〈アイヌ民族〉	道歴研会報　第64号	北海道歴史研究者協議会	1〜2	5月30日に開催された入門講座の要旨。
1992	8	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第23号	札幌市、札幌市教育委員会	64	白仁武が「北海道旧土人保護法」を起草したと記された資料を発見したことなどを述べる。
1992	11		〈史料紹介〉上川第五尋常小学校関係史料	旭川市史編集機関誌　旭川研究〈昔と今〉第3号		74〜90	吉田信夫「北海道旭川町旧土人学校参観記」、「上川第五尋常小学校要覧」、「第五尋常小学校備品内訳」、「第五尋常小学校消耗品費内訳」の4点を紹介。冒頭に解題を記す。
1993	1		「世界の先住民のための国際年」とアイヌ教育の課題	解放教育　第296号	明治図書	71〜82	小特集：国際社会とアイヌ民族 はじめに/一　敗戦後の小学校用社会科教科書の〈アイヌ民族〉記述の推移/二　「新社会科教科書」の〈アイヌ民族〉記述の内容/三　「新社会科教科書」の〈アイヌ民族〉記述の分析/おわりに
1993	2	25	北と南を結ぶ尋常小学読本（下）	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第24号	札幌市、札幌市教育委員会	18〜37	三　『北海道用尋常小学読本』と『沖縄県用尋常小学読本』の編纂方法（(1)教材化の方法/(2)収録教材の地域性）/四　『北海道用尋常小学読本』と『沖縄県用尋常小学読本』の編纂理由とその背景（(1)文相・井上毅の教育改革と『北海道用尋常小学読本』編纂の「請願」/(2)日清戦争後の軍備増強策の展開と『北海道用尋常小学読本』『沖縄県用尋常小学読本』の編纂/(3)明治国家への政治的・文化的統合と『北海道用尋常小学読本』『沖縄県用尋常小学読本』の編纂）/おわりに
1993	2	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第24号	札幌市、札幌市教育委員会	81	「北海道旧土人救育会」の円山村への実業補習学校設置計画について述べる。
1993	3	15	教育〔第5章「アイヌ差別」の中の一項目〕	部落問題　資料と解説（第3版）	解放出版社	356〜361	(1)は「歴史」、(2)は「現状」。
1993	3	31	近代日本のアイヌ「同化」政策	北海道とアメリカ	札幌学院大学生活協同組合		1991年9月に札幌学院大学にて開催された公開講座の記録。 一　「アイヌ民族」の規定/二　アイヌ民族の伝統的社会の子育ての習俗/三　開拓使の教育政策とアイヌ民族/四　遠藤正明のアイヌ教授実践　札幌県のアイヌ教育政策/五　北海道旧土人保護法の制定とアイヌ小学校の特設/六　アイヌ民族の自覚と自立へのメッセージ/七　柳宗悦のアイヌ論
1993	8	10	アイヌの教育	現代学校教育大事典	ぎょうせい		
1993	12	20	［問題提起］人権教育としてのアイヌ問題学習の課題	人権教育研究　第４号	明治図書	80〜81	
1993	12	27	The Ainu in the New Textbooks for Social Studies〔日本語題「新社会科教科書のなかのアイヌ民族」。小山内洸、リチャード・シドル訳〕	Indigenous Minorities and Education〔日本語題『先住少数民族と教育』〕	三友社	289〜297	Introduction/Changes in the Descriptions of the Ainu People in Postwar Elementary School Social Studies Textbooks/Portrayals of the Ainu in the NESST/Conclusion
1994	3	28	札幌とアイヌ問題	新札幌市史　第3巻通説3	札幌市	507〜525	第七編「近代都市札幌の形成」（1899〜1921年を対象時期とする）第六章「社会問題の諸相」の第六節。 一　札幌とアイヌ民族の諸相（札幌でのアイヌ民族の足跡/興業としてのイオマンテの挙行/アイヌ小学校の修学旅行）/二　幻の「北海道旧土人救育会円山学園」計画（北海道旧土人救育会の創立と小谷部全一郎/小谷部の建議/創立の契機としての「近文アイヌ給与地問題」/「主唱者」とアイヌ民族との関連/組織の確立と役員の構成/アイヌ実業補習学校の円山村設立計画/円山村選定の理由/北海道支部の役員構成/内務省の反対）
1994	3	28	国民統合と教育	新札幌市史　第3巻通説3	札幌市	681〜763	第七編「近代都市札幌の形成」の第八章。 第一節　初等教育の諸相（一　初等教育行政の諸問題/二　初等教育の内容/三　少年少女の進路と文化活動）/第二節　中・高等教育機関の整備（一　中学校教育の拡大と定着/二　女子中等教育制度の形成/三　東北帝国大学農科大学の成立）/第三節　通俗図書館の成立（一　明治三十年代の公共図書館設立論/二　北海道教育会附属図書館の成立/三　区立小学校附属図書館の設立

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1994	3	30	アイヌ教育の視点から	教育学研究　第61巻第1号	日本教育学会	8〜10	日本教育学会第52回大会シンポジウム「共生と教育」報告要旨
1994	3	31	『北の光』解説、『北の光』解題	アイヌ史　北海道アイヌ協会・北海道ウタリ協会活動史編	北海道ウタリ協会	179〜181	〔解説の構成〕　北海道アイヌ協会協議会の開催/社団法人北海道アイヌ協会の創立/社団法人北海道アイヌ協会の事業/機関誌『北の光』の創刊
1994	6	1	小学校用社会科教科書に描かれた〈アイヌ民族〉	教科書の中のアイヌ民族と朝鮮　自由学校「遊」ブックレット2	自由学校「遊」	73〜103	1992年9月17日の講義の後半部を成稿化した「『世界の先住民のための国際年』とアイヌ教育の課題」を補訂したもの。（「付記」による） 「付記」にはこのほか、本稿で指摘した事項のその後の経緯、関連する動向などを記す。
1994	6	11	アイヌ民族と社会教育	日本社会教育学会紀要　第30号	日本社会教育学会	21〜23	
1994	9		虚構としての〈あいぬの風俗〉　－国定国語教科書のアイヌ認識	教育学研究　第61巻第3号	日本教育学会	46〜57	掲載誌の特集「国際化時代の教育　グローバル・エデュケーション」の中の一編。 はじめに/1　国定国語教科書におけるアイヌ教材の成立　－〈アイヌ〉から〈あいぬの風俗〉へ/2　〈あいぬの風俗〉のアイヌ・イメージの諸相と文部省の教材化の意図/3　教員の〈あいぬの風俗〉への視線/4　アイヌ小学校教員の〈あいぬの風俗〉批判/5　〈あいぬの風俗〉の終焉　－結びにかえて
1994	10	31	新芦別市史　第3編第1章第15節、第17節、第2章第14節、第15節	新芦別市史　第2巻	芦別市		編集委員として編さん・執筆に参加。
1994	11	30	「太田紋助」「知里幸恵」「永田方正」「ペンリウク」「ワカルパ」	朝日日本歴史人物事典	朝日新聞社		
1995	2	25	『わたしたちのしなの』を読む	札幌の歴史　第28号	札幌市教育委員会		
1995	9	20	教科書に描かれたアイヌ民族	世界民族問題事典	平凡社		
1995	9	20	近現代史の中のアイヌ民族の自己表現	世界民族問題事典	平凡社	20〜21	「アイヌ文学」の中の小項目。
1996	2	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第30号	札幌市、札幌市教育委員会	77	中等学校の入学試験制度の歴史について、1927年の筆記試験中心の選抜の改革に関する文部省通知などに触れる。
1996	8	25	［執筆閑話］	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第31号	札幌市、札幌市教育委員会	83	1935年に札幌市今井呉服店にて開催された「北海道アイヌ手工芸品展覧会」について述べる。
1997	2	25	［執筆閑話］私立若葉幼稚園のフレーベル祭	「新札幌市史」機関誌　札幌の歴史　第32号	札幌市、札幌市教育委員会	66	
1997	3	31	昭和戦前期のアイヌ民族と札幌	新札幌市史　第4巻通史4	札幌市	701〜713	第八編「転換期の札幌」第六章「社会運動と女性問題」の第五節。 一　札幌でのアイヌ民族の活動とアイヌ関係展覧会の開催（アイヌ民族自身の主体的活動/山鼻尋常高等小学校の「開校五十年記念児童成績品及教育参考品展覧会」/犀川会主催「北海道原始文化展覧会」/北海道庁主催「北海道アイヌ手工芸品展覧会」）/二　「バチェラー学園」の設立（ジョン・バチェラーと「アイヌ保護学園」/「バチェラー学園」の財団法人化/アイヌ民族とバチェラー/「アイヌ学院」の設立と「旧土人奨学資金給与規程」の制定）
1997	3	31	「教育都市札幌」の実像	新札幌市史　第4巻通史4	札幌市	851〜920	第八編「転換期の札幌」の第八章。 第一節　教育機会の拡大とその矛盾（一　初等教育の諸問題/二　中・高等教育機関の拡充/三　「錬成」と学徒勤労動員）/第二節　少年少女の進路の諸相（一　小学校卒業者への「職業指導」体制の整備/二　「少年職業戦士」の創出/三　上級学校への進学と「受験準備教育」の実態）/第三節　幼稚園教育の成立と展開（一　明治期の札幌の幼稚園/二　大正期の札幌の幼稚園/三　「幼稚園令」の制定と昭和戦前期の札幌の幼稚園/四　「盲学校及聾唖学校令」の制定と札幌の障害者教育）

年	月	日	表題	所収（巻号）	発行所	ページ	摘要・備考
1997	10	22	「アイヌ小学校」「旧土人」「北海道旧土人救育会」「北海道旧土人保護法」	日本史広辞典	山川出版社	16、604、1955	
1998	4	23	「解平社」の創立と近文アイヌ給与予定地問題	近代日本と北海道	河出書房新社	400〜431	はじめに/一　「解平社」の創立時期と中核メンバー/二　「解平社」メンバーの日本農民党入党と木下源吾/三　「解平社」の創立と近文アイヌ給与予定地問題/四　森竹竹市「解平運動」の意味と水平社運動への眼差し/結びにかえて
2001	1		「アイヌ民族の教育」	部落問題・人権事典	解放出版社		
2001	5		「北海道旧土人保護法」	日本史小辞典（新版）	山川出版社		
2001	12		白仁武と近代北海道教育	二本のけやき―白仁武・マサの想い出	創林社	35〜40	
2001	12	10	アイヌ教育	現代教育史事典	東京書籍	394〜397	
2008	3	25	増補・虚構としての〈あいぬの風俗〉	北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要第14号	北海道立アイヌ民族文化研究センター	89〜114	1994年の「虚構としての〈あいぬの風俗〉」に全面的な補足・改訂を行ったもの。 はじめに/第1節　〈あいぬの風俗〉の成立/第2節　虚構のアイヌ像の創出と〈あいぬの風俗〉教材化の意図/第3節　〈あいぬの風俗〉への視線/第4節　小学校教員の〈あいぬの風俗〉批判/第5節　〈あいぬの風俗〉の終焉　―結びにかえて

2　学会発表・講演など

年	月	日	表題	学会等の名称	主催	摘要、備考
1977	1		アイヌ教育史　－青少年のアイヌ観	北海道歴史研究者協議会例会	北海道歴史研究者協議会(北海道大学)	
1977	9	2	吉田巌論	日本教育学会第36回大会	日本教育学会(日本福祉大学)	
1978	8	27	民族の独立と教育価値の創造（その4）　－AALAの民衆教育と人間化の問題	日本教育学会第37回大会	日本教育学会(東京学芸大学)	皆川卓三、小沢有作、楠原彰、柿沼秀雄、山本哲士、広木克行との連名による発表。
1979	8	27	明治期のアイヌ教育論	日本教育学会第38回大会	日本教育学会(九州大学)	
1980	8	22	岩谷英太郎のアイヌ教育論	日本教育学会第39回大会	日本教育学会(北海道大学)	
1980	8	24	コロキウム「アイヌ教育（史）研究の現状と課題」	日本教育学会第39回大会	日本教育学会(北海道大学)	竹ヶ原幸朗が企画、運営。
1981	8	29	岩谷英太郎とアイヌ教育	日本教育学会第40回大会	日本教育学会(東京都立大学)	
1983	8		『北海道用尋常小学読本』と近代北海道教育の位置	日本教育学会第42回大会	日本教育学会(法政大学)	
1984	8	30	近代北海道の教育と『北海道用尋常小学読本』	日本教育学会第43回大会	日本教育学会(甲南女子大学)	
1985	9	5	北海道教育史の諸問題	日本教育学会第44回大会	日本教育学会(埼玉大学)	
1987	8	28	近代初等教科書におけるアイヌ教材	日本教育学会第46回大会	日本教育学会(大東文化大学)	
1987	10	2	コロキウム「アイヌ教育史」	教育史学会第31回大会	教育史学会(北海道大学)	逸見勝亮、小川正人とともに、世話人として企画、運営。
1988	9	2	近代初等教科書に描かれたアイヌ〔Ⅱ〕	日本教育学会第47回大会	日本教育学会(名古屋大学)	
1989	8	28	三県時代のアイヌ教育　－札幌県師範学校一等助教論・遠藤正明のアイヌ教育調査	日本教育学会第48回大会	日本教育学会(筑波大学)	
1990	8	29	コタンの教育から学校の教育へ　－佐瑠太学校平取分校の設置	日本教育学会第49回大会	日本教育学会(九州大学)	
1990	9	8	近代日本のアイヌ教育政策	少数民族を考える歴史シンポジウム　－アイヌとインディアン	北海道歴史研究者協議会・札幌学院大学アメリカ研究会共催(北海道大学)	
1991	7	7	アイヌ教育の現状と課題	日本比較教育学会第27回大会	日本比較教育学会(北海道教育大学札幌分校)	
1991	8	30	ラウンドテーブル「アイヌ教育研究の現状と教育研究者の課題」	日本教育学会第50回大会	日本教育学会(東京大学)	竹ヶ原幸朗が企画者。自身も「近現代教科書に描かれたアイヌ」を報告。
1991	9	6	近代日本のアイヌ「同化」政策	札幌学院大学人文学部公開講座[北海道文化論]「北海道とアメリカ」	札幌学院大学	
1992	5	30	教科書の中の〈アイヌ民族〉	北海道歴史研究者協議会入門講座	北海道歴史研究者協議会（札幌市民会館）	
1992	9	17	近代日本の教育とアイヌ民族　－教科書の中の〈アイヌ民族〉	自由学校「遊」講義	自由学校「遊」	

1993	2	6	アイヌ史の諸問題	北海道ウタリ協会札幌支部創立20周年記念式典	北海道ウタリ協会札幌支部（札幌市教育文化会館）	式典第一部での講演。解平社について講演する。
1993	3	27	〔シンポジウム報告〕	北海道ウタリ協会釧路支部シンポジウム	北海道ウタリ協会釧路支部（釧路市春採生活館）	小学校社会科教科書の記述について講演する。
1993	8	25	共生と教育　－アイヌ教育の視点から	日本教育学会第52回大会	日本教育学会（立教大学）	全体シンポジウム「共生と教育」での報告
1993	8	26	北海道旧土人救育会虻田学園の研究　1	日本教育学会第52回大会	日本教育学会（立教大学）	
1993	10	3	アイヌ民族と社会教育	日本社会教育学会第40回大会	日本社会教育学会	
2007	3	26	公開フォーラム「日本における多文化教育　－アイヌ文化の場合」	国立民族学博物館開館30周年記念公開フォーラム	国立民族学博物館	フォーラムの「討論者」（全7名）をつとめる。

3　北海道教育会機関誌覆刻事業

（1）　北海道教育会機関誌覆刻版　竹ヶ原さんの担当巻

年	月	日	巻数、内容など
1983	2	25	第5巻 『北海道教育雑誌』第27～38号、1895年1～12月。
1984	10	25	第10巻上・下 『北海道教育雑誌』第84～89号（上）、90～95号（下）、1900年1～12月。
1985	3	10	第14巻上・下 『北海道教育雑誌』第132～137号（上）、138～143号（下）、1904年1～12月。
1985	9	25	第18号上・下 『北海之教育』第180～185号（上）、186～191号（下）、1908年1～12月。
1986	2	10	第22巻上・下 『北海之教育』第228～233号（上）、234～239号（下）、1912年1～12月。
1986	7	25	第26巻上・下 『北海之教育』第276～281号（上）、282～287号（下）、1916年1～12月。

（2）　『月報　北海道教育会雑誌』より

年	月	日	内容・関連事項など
1982	11	16	第1号 覆刻版第1巻附録。編集人　北海道教育会雑誌編集委員会　竹ヶ原幸朗 「「北海道教育会雑誌」「北海道教育雑誌」「北海之教育」における土人及び旧土人・アイヌ表示の記事論稿リスト」など掲載。作成者名の記載はないがおそらく竹ヶ原幸朗か。
1982	12	16	第2号 覆刻版第3巻附録。編集人　北海道教育会雑誌編集委員会　竹ヶ原幸朗 **「北海道教育会機関誌の覆刻に際して」（編集委員 谷内鴻/逸見勝亮/桑原真人/竹ヶ原幸朗）**など掲載。
1983	1	25	第3号 覆刻版第4巻附録。編集人　北海道教育会雑誌編集委員会　竹ヶ原幸朗 **「編集委員会日誌抄（一）」「同（二）」（文責・竹ヶ原幸朗）**など掲載。
1983	2	16	第4号 編集人　北海道教育会雑誌編集委員会　竹ヶ原幸朗 「対馬嘉三郎旧蔵北海道教育会機関誌について」（桑原真人）など掲載。同文中に「昨年〔1982年〕十二月に竹ヶ原編集委員により対馬嘉三郎旧蔵本が北海道教育大学附属図書館旭川分館に所蔵されていることが確認された」とあり。
1983	5	16	第5号 覆刻版第7号附録。編集人　北海道教育会雑誌編集委員会 **竹ヶ原幸朗「〈北海道教育会機関誌〉の所蔵状況」**など掲載。

（3）　『月報　北海道教育会雑誌』掲載「編輯委員会日誌抄」より

年	月	日	日誌の記述
1982	3	10	「文化評論社・引地氏と竹ヶ原が『北海道用尋常小学読本』の復刻に際しての解題執筆の打ち合わせ。その時に、『北海道教育雑誌』の復刻のことがはじめて話題にのぼった。」
1982	3	11	「谷内鴻氏（当時・北海道立教育研究所教育史室長）、引地氏、竹ヶ原とで北海道教育史研究の現状について情報を交換する。 　その後、引地氏は、刊行計画の素案を作成する。それをもとに、谷内氏と竹ヶ原とで他の編集委員の人選にはいり、逸見勝亮氏（北海道大学教育学部助教授）、桑原真人氏（北海道開拓記念館研究職員）の承諾を得る。」
1982	4	13	「谷内・桑原の両氏と竹ヶ原とで編集委員会の運営について打ち合わせ。」
1982	4	21	「北大教育学部逸見研究室で文化評論社・引地氏と編集委員全員出席のもとで初顔合わせ。自己紹介。引地氏より刊行計画案の説明。谷内氏が編集委員会代表、竹ヶ原が同事務局を担当。そのあとで、北海道教育会についての自由討議。 　（注）編集委員会は、逸見氏が十月から国立教育研究所に内地留学するまで委員全員が出席して開いた。」
1982	5	15	「谷内鴻氏の報告「北海道教育史の時期区分」について自由討議。とりわけ、時期区分の指標を何に求めるかに議論が集中。谷内氏は、就学率を重視。逸見氏は、教育内容、桑原氏は、資本主義の発展過程をそれぞれ指摘した。また、教科書の問題にも及び、北海道教育史の諸相を象徴するものとして『北海道用尋常小学読本』の重要性も指摘された。」
1982	6	19	「文化評論社の要請により、パンフ掲載の「刊行の趣旨」を谷内案をもとに検討。逸見氏の原本の所蔵状況の調査報告。」
1982	7	3	「「刊行の要旨」の検討。逸見氏の第二回原本所蔵調査報告。北大図書館・佐藤文庫本、北大教育学部所蔵本を原本と決定。なお、一八九五、九六年分については、製本上の問題で表・裏表紙の欠落が判明。主要大学図書館、道県立図書館に照会したが該当号は所蔵せず。今後も継続して調査することとなった。」 ※以上は『月報』3に掲載。
1982	7	24	「「月報」の内容とその執筆者を決定。第一号は谷口一弘氏「戦前期北海道民間教育雑誌の紹介」と谷内編集委員「北海道教育史研究への提言」とから構成する。」 ※『月報』5に掲載

4　「いまどきの子どもたちへ」一覧

年	月	日	所収（巻号）	面	摘要、備考
1991	9	11	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	日本教育学会ラウンドテーブルをいとぐちとした内容。
1991	9	27	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	前回を引き継ぎ、現代のアイヌ観や学校教育の問題に言及。
1991	10	10	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	層雲峡を訪ねたときのことを述べ自然開発を話題に。
1991	10	23	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	読書週間にちなみ小沢有作との出会いと『民族教育論』との出会いを記す。
1991	11	7	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	秋の話題として自分と自然環境との関わりについて随想を記す。
1991	11	20	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	「学校メタファー」について。
1991	12	11	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	柳宗悦について。
1991	12	27	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	テレビの暴力シーンに関する話題から暴力という問題について記す。
1992	1	22	『朝日新聞』(北海道PR版)	D面	いま執筆中の論文に関する話題として北海道用尋常小学読本に対する考え方や視点について記す。
1992	2	7	朝日新聞	28(道内)面	虻田実業補習学校生徒の日誌に出てくる鍛冶関係の用語の意味が、飾職人だった父に訊いてわかったことを記す。
1992	2	20	朝日新聞	20(道内)面	2月初めに逝去した貝澤正について記す。
1992	3	11	朝日新聞	28(道内)面	白瀬矗が北海道教育関係者の名簿に掲載されていたことがあるとの逸話を記す。
1992	3	31	朝日新聞	28(道内)面	子どもの「将来の夢」について、現代と、明治時代の小学生に関する調査とを対比して記す。
1992	4	16	朝日新聞	24(道内)面	4月から改訂された小学校教科書の記述、特にアイヌに関する記述の問題点について記す。
1992	5	13	朝日新聞	20(道内)面	自身の教育史に対する問題関心が制度から子どもの実態へと深まってきたことを、山中恒の著作に触れつつ述べる。
1992	5	21	朝日新聞	24(道内)面	解平社の歴史を調べてきて、わかってきたことについて述べる。
1992	6	4	朝日新聞	24(道内)面	小学校の運動会の歴史について述べる。
1992	6	27	朝日新聞	26(道内)面	毎年の大学の授業で行っている、受講生を対象とした「青少年のアイヌ観」調査の内容について。
1992	8	1	朝日新聞	20(道内)面	学校における試験の歴史について。
1992	8	20	朝日新聞	20(道内)面	美瑛に家族で旅行した時に出会った中学生の礼儀正しさのことなどを記す。
1992	9	9	朝日新聞	24(道内)面	バルセロナオリンピックにおける南アフリカのモキベ選手の発言に感銘を受けたことを記す。
1993	2	18	朝日新聞	20(道内)面	白仁武について述べる。
1993	3	31	朝日新聞	28(道内)面	戦前の中学校受験について記す。
1993	5	7	朝日新聞	22(道内)面	このころ新聞などで報道された教科書記述の問題点について記す。
1993	9	21	朝日新聞	20(道内)面	中学校時代の教師と思いがけず再会したことなどを記す。
1993	11	5	朝日新聞	26(道内)面	この年の日本教育学会のシンポジウムと自然環境の問題などについて記す。
1993	12	9	朝日新聞	18(道内)面	自身の中高校生時代の読書の思い出などを記す。
1994	9	17	朝日新聞	22(道内)面	日露戦争当時の札幌の小学生の様子を紹介し、「この当時、小学生であった人たちが三十歳代となり、社会の中堅として活躍していた時期に日本は十五年戦争に突入しました。これは単なる歴史の偶然でしょうか。」と結ぶ。